

国際戦略経営研究学会

The International Academy of Strategic Management

NEWSLETTER VOL. 9.No.1

2020/1/10



(内容)

- 1 会長新年ご挨拶
- 2 国際戦略経営研究学会第13回年次大会・研究発表大会のご案内
- 3 第12回年次大会・研究発表大会のご報告
- 4 2019年度第1回理事会報告
- 5 2019年度学会賞受賞者のお知らせ
- 6 編集委員会からのお知らせ
- 7 新たな研究会設立の募集について
- 8 事務局からのお知らせ

1. 会長新年ご挨拶

(2020年を迎えるにあたって)
国際戦略経営研究学会の会員の皆様

新年あけましておめでとうございます。本年は東京で2回目のオリンピックが開催されるなど時代の節目の年を迎えて、当学会の会員の皆様におかれましては、益々健勝のこととお慶び申し上げます。

国際戦略経営研究学会も、本年で設立以来12年目を迎えることになり、今後益々発展することが期待されております。現状では、当学会員数の伸び悩み、国際化の遅れ、更には戦略経営分野の新しい研究活動の必要性などの諸課題に対して、新しい対応が求められております。本年は会員の諸先生のご協力を賜りながら、ぜひこれらの懸案の課題を解決すべく、対処可能案件から取り組んでいく所存です。そのためには、会員の諸先生方のご提案やご支援等をいただくことが不可欠です。ご多忙の中お手数おかけしますが、何とぞご協力いただけますようにお願い申し上げます。

又当学会運営に関する諸活動につきまして、各種のご提案や改善内容などがありましたら、忌憚のないご意見を積極的にいただけますようにお願い申し上げます。

2020年度は当学会が飛躍的に発展する年になりますように祈念いたします。

国際戦略経営研究学会 会長 古屋紀人
nfuruy(at)fb3.so-net.ne.jp
((at) の場所に@をお入れください)

2020年1月1日

2. 国際戦略経営研究学会 第13回年次大会・研究発表大会のご案内

本年度の第13回大会の日程、統一テーマ等が下記の通り決定致しましたので、お知らせ申し上げます。

下記の要領で開催予定ですので、積極的にご参加くださいますようお願い申し上げます。

2.1. 開催場所

青山学院大学青山キャンパス（東京都渋谷区渋谷4-4-25）

2.2. 開催日

2020 年 10 月 23 日（金）～24 日（土）

2.3. 統一テーマ

大学発スタートアップ：—戦略、組織、起業家育成—

大会プログラムの詳細は未定ですが、研究発表は統一テーマに関するものと自由論題による発表の 2 タイプから構成されます。発表内容は、戦略経営に関するものであれば、実証研究、事例研究、分析フレームワークの提案などのいずれでも可能です。

2.4. 趣旨

グローバル競争力を維持・向上していくためには、大学のイノベーション機能の拡充、地域社会との創発が非常に重要な役割を果たします。今年度は、大学発スタートアップを統一テーマとし、その戦略、組織、起業家育成という視点で議論していきます。ここでいう大学発スタートアップは、大学発ベンチャー、大学発スピノフ、技術移転、大学のインキュベーション、産学官連携などの概念を含むものとします。

戦略は、大学そのもののイノベーション機能、スタートアップの戦略経営、産学官連携の戦略という視点を含みます。組織は、大学におけるスタートアップの位置づけ、インキュベーションやスタートアップの組織のあり方、さらに産学官の連携としての組織のあり方が考えられます。そして、起業家育成は、大学における起業家育成プログラム、スタートアップに対する支援、ビジネスコンテストの企画・運営などを含みます。

2.5. 発表形態

研究発表の形式は、口頭発表、統一テーマに関するもの、自由論題に関するもののいずれについても、英語、日本語のいずれでも可能です。

2.6. 募集要領

- (1)申込み方法：学会ホームページ 大会サイトからの申込予定
- (2)原稿の言語：英語での発表の場合は英文、日本語での発表の場合は和文
- (3)申込み期限：2020 年 6 月末を予定しています。

3. 第 12 回年次大会・研究発表大会のご報告

3.1. 第12年次大会・研究発表大会のご報告

2019年10月5日（土）・6日（日）の2日間にわたり文教大学越谷キャンパス（埼玉県越谷市）において第12回年次大会・研究発表大会が開催されました。大会の統一論題は、「戦略経営の人間的側面（The Human Side of Strategic Management）」でした。

大会一日目、10月5日（土）午後には、キャロライン・ベントン筑波大学副学長による基調講演が行われ、同日午後には「戦略的な経営者を育てる仕組」と題した大会シンポジウムが行われました。

大会二日目、10月6日（日）午後には、「Challenges and strategies for strategic global management research and practices」、および「GAFA主導のIoT/AI時代における日本企業の対抗戦略」と題した2つの分科会シンポジウムが行われました。

今年度の大会では、統一論題シンポジウム、統一テーマセッション、自由論題セッション、自由論題英語セッション、院生セッションを設け、32件の研究発表、合計92名の参加がありました。

第12回年次大会・研究発表大会では、研究発表やシンポジウムを通じて有意義な議論を行うことができました。講演者、研究発表の発表者、司会者、および参加いただいたみなさまに、心より感謝申し上げます。

第12回年次大会・研究発表大会委員会

3.2. 年次総会

国際戦略経営研究学会 第12回年次総会において、以下の議題について、10月5日開催の理事会の議を経て総会で審議し、いずれも承認されましたのでご報告申し上げます。

（1）2018年度事業報告および収支決算についての事項

事業報告として以下の委員会の報告が行われ、収支決算について承認されました。

- ① 総務企画委員会活動
- ② 大会企画運営委員会活動
- ③ 涉外・国際委員会活動
- ④ 研究部会活動（開催回数）
 - 戦略経営理論・実践研究部会（計8回）
 - 戦略財務・会計研究部会（計2回）
 - 戦略的人的資源・組織開発研究部会（計2回）
 - グローバル戦略研究部会（計2回）
 - 戦略経営とICT・法制度研究部会（計1回）

- 関西政策・戦略研究会（計1回）
- ⑤ 学会誌編纂委員会活動
- JOURNAL OF STRATEGIC MANAGEMENT STUDIES (JSMS: 英文, 査読ジャーナル) Vol.10 No.1 を2018年10月22日に発行。Vol.10, No.2 を2019年3月31日に発行
- 戦略経営ジャーナル（日本語, 査読電子ジャーナル）Vol.6, No.3 を2018年10月に発行。Vol.6, No.4 を2019年2月に発行。

(2)監査報告についての事項

学会会則第31条に従い、室勝弘、大島正克監事の監査を受け、「決算報告書は収支支出の状況及び財産の有りを正しく示している」ことが報告されました。

(3)2019年度事業計画および収支予算についての事項

これまで通りの研究会活動、学会誌の発行を継続して行うことが確認されました。

(4)監事の選任

次期監事として次の2名が推薦され承認されました。

安部博文 伊藤富佐雄

(5)会員数の現状について

正会員数	306名
準会員数	7名
名誉会員	1名
顧問	2名
合計	316名

(6)理事選挙について

「役員選任規定 第12条」に従って選挙管理委員が選出され、選挙管理委員のもと理事選挙が実施されました。新理事に選出された方々は以下の通りです（順不同）。

浅野浩美 伊藤武志 薄上二郎 遠藤正之 長内厚 河合忠彦 北島啓嗣
木村裕斗 国松麻季 桑山三恵子 幸田達郎 近藤信一 咲川孝 高桑健太郎
玉木欽也 那須野育大 林恭子 平松庸一 藤井亨 古屋紀人 Benton Caroline
松江英夫 松田千恵子 山崎京子 Remy Magnier Watanabe (以上25名)

(7) 常任理事の選出

大会2日目の10月6日に開催された新理事による第1回の理事会において、「役員選任規定 第12条」に従って次の役員が選出されました（順不同）。

歌代豊 薄上二郎 木村裕斗 咲川孝 鈴木研一 玉木欽也 丹沢安治 古屋紀人

4. 2019年度第1回理事会報告(2019年12月8日)

(1) 会長の互選

役員選任規定に従って、理事会の互選により、新会長として古屋紀人氏が選任されました。

(2) 理事会の議決による理事の選任

役員選任規定に従って、理事会の議決による理事として次の3名が理事に選任されました。

小久保欣哉 中島洋行 中村正伸

(3) 常任理事・理事の委員会体制

常任理事及び理事の委員会体制が審議のうえ、以下のように決定されました。

役員・委員会体制

総会・大会企画運営委員会

常任理事 委員長 薄上二郎

常任理事 副委員長 咲川孝、玉木欽也

理事 委員 遠藤正之、幸田達郎、小久保欣哉、高桑健太郎

学会誌編纂委員会

常任理事 委員長 鈴木研一

理事 副委員長 河合忠彦

理事 委員 桑山三恵子、中島洋行、中村正伸、那須野育大、
平松庸一、松田千恵子、Rémy Magnier-Watanabe

研究部会運営委員会

常任理事 委員長 丹沢 安治

理事 委員 浅野 浩美, 伊藤 武志, 北島 啓嗣, 近藤 信一, 松江 英夫

涉外・国際委員会

会長 委員長 古屋 紀人

理事 委員 長内 厚, 林 恭子, 山崎 京子, Benton Caroline

総務企画委員会

常任理事 委員長 歌代 豊

常任理事 副委員長 木村 裕斗

理事 委員 国松 麻季, 藤井 享

5. 2019年度学会賞受賞者のお知らせ

2019年度学会賞受賞者が次のとおり決定いたしました。

学会賞（論文部門）：

豊崎 仁美（明治大学大学院経営学研究科博士後期課程）

対象論文「予算管理および方針管理が整合的・自律的行動に与える影響

－ホテル業A社とケアハウス業B社におけるアンケート調査にもとづいて－」

『戦略経営ジャーナル』Vol.6, No.4

安田 洋史（青山学院大学経営学部）

対象論文"Governance Mechanisms of Inter-organizational Relationship:

Comparative Analysis of Three Forms of Alliance Governance,"

Journal of Strategic Management Studies, Vol.10, No.1

学会賞（著書部門）： 該当者なし

学会賞は、戦略経営に関する理論または実践について貢献するところが大きいと認めた本学会員を表彰し、本学会、及び戦略経営の理論と実践の発展をはかることを目的とし創設されました。2019年度の今回が1回目です。戦略経営に関する理論または実践の発展に貢献するところが顕著であると認めた論文を執筆した、本学会員に論文部門賞を授与する学会賞（論文部門）と、戦略経営に関する理論または実践の発展に貢献するところが顕著であると認めた著書を執筆した、本学会員に同賞を授与する学会賞（著書部門）があります。

学会賞（論文部門）については、2018年4月1日より2019年3月31日までに刊行され

た “Journal of Strategic Management Studies” および『戦略経営ジャーナル』に掲載された査読論文を対象とし、審査委員会により審査を行い、受賞候補を選定し、最終的に常任理事会によって決定しました。

学会賞（著書部門）については、2018年4月1日より2019年3月31日までに刊行された本学会員による単著、共著（第一著者が本学会員であること）が対象で、学会員から自薦または他薦されたものが候補でしたが、今回は残念ながら該当者なしとなりました。

2020年度も引き続き、学会賞の選考を行います。論文部門は2019年4月1日より2020年3月31日までに刊行された “Journal of Strategic Management Studies” および『戦略経営ジャーナル』に掲載された査読論文が対象となります。また、著書部門については、4月以降に改めて自薦他薦の公募を案内いたします。会員のみなさまには、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

6. 編集委員会からのお知らせ

既に昨年12月28日に会員宛メールでお知らせしました通り、編集委員会では、英文ジャーナルである JSMS (Journal of Strategic Management Studies) の Vol. 12, No. 1 (Sep. 2020 発行予定) にて以下の要領で特集を組むことになりましたので、皆様の積極的な御投稿をお願い申し上げます。

(1) 特集テーマ

「プラットフォーム戦略とダイナミック・ケイパビリティ・ペースペクティヴ」

趣旨 IoT/AI ないし GAFA/5G 時代の到来によるプラットフォームやダイナミック・ケイパビリティの重要性の高まりに対応して、JSMS では Vol. 10, No. 1, および Vol. 11, No. 2 において、それぞれについての特集を組んできましたが、両者は大きくオーバーラップしています。

たとえば、自動車メーカーは CASE への対応を迫られていますが、その多くは「巨大プラットフォーマーの攻勢にいかに対抗するか」といった問題にかかわっており、同時に、「手持ちの技術をいかに組み換える、あるいは不足する技術を M&A や JV によって外部から取り込んで必要な新技術をいかに構築するか」、より具体的に、たとえば、「進化スピードを益々上げつつある AI の新技術を遅れずに——しかも既存の企業グループを超えたエコシステムを構築して——いかに取り込むか」といった具合に、ダイナミック・ケイパビリティ・ペースペクティヴの対象領域にもかかわっています。

そこで、Vol. 12, No. 1 では、ことにプラットフォームとダイナミック・ケイパビリティのクロスする領域にフォーカスした特集を組むこととしました。プラットフォーマーらの攻勢に対していくなる戦略で対抗するか、その実現のためにいかなる資源・技術を構築するか、といったテーマが考えられますが、この問題は企業、競争、機能別戦略のいずれのレ

ベルでも生じる可能性があり、具体的には様々なテーマがあり得ると思われます。

なお、それらのテーマに対しては、理論的、実証的、いずれの研究も考えられます。また、前者にもとづいて日本企業への処方箋を提示する規範的研究、あるいは、後者としての、成功したケースの研究などもあり得ると思います。

(2) 原稿提出期限：2020年6月15日（月）

(3) 論文原稿の提出先：editor(at)iasm.jp ((at) の場所に@をお入れください)

(4) 注意：通常の投稿と同じですが、特に次の点に注意してください。

- ・投稿原稿は JSMS の執筆要領（下記 URL）に準拠して作成してください。

URL : http://iasm.jp/english_activity5.html

- ・英語は必ずネイティブチェックを受けて下さい。

- ・投稿に関して不明点がございましたら、論文編集委員会（JSMS）委員（河合）宛てにご連絡をお願いいたします。メールアドレスは下記です。

メールアドレス : mjkrota8(at)vega.ocn.ne.jp ((at) の場所に@をお入れください)

編纂委員会 特集号編集委員 河合 忠彦

7. 新たな研究会設立の募集について

このたび国際経営戦略学会では、新たな研究会の設立を募集いたします。

研究会活動は、本学会における根幹をなすべき重要な活動であり、研究成果の対外的発信や会員の研究業績の蓄積の場としての意義は大きく、今後より一層の活性化が求められております。

現状においては、既に以下の研究部会が、年間を通して各種活動を実践しております。

- ・戦略経営理論・実践研究部会（計8回）（世話人：丹沢会員、歌代会員、野間口会員）
- ・戦略財務・会計研究部会（計2回）（世話人：鈴木会員）
- ・戦略的人的資源・組織開発研究部会（計2回）（世話人：薄上会員）
- ・グローバル戦略研究部会（計2回）（世話人：咲川会員）
- ・戦略経営とICT・法制度研究部会（計1回）（世話人：山本会員）
- ・関西政策・戦略研究会（「地方研究部会」に改名予定）（計1回）（世話人：北島会員）

また最近では、上記に加えて、河合会員が「日本企業再生研究部会」を立ち上げられ、研究活動が開始されました。

このたび新年にあたり、新領域に関する研究活動を一層加速すべく、新研究会の設立を募集致します。新研究会は、原則として既存研究会（上記）のいずれにも属さない領域を研究対象にすることを想定しております。

新研究会の設立をご希望される方は、「①：希望する研究部会名」、「②：趣旨」「③：担当者名」を明記（フォーマットは自由）の上、丹沢（ytanzawa(at)tamacc.chuo-u.ac.jp）、松江（matsuehideo(at)gmail.com）宛に送付頂くようお願い致します（(at)の場所に@をお入れください）。なお、新研究部会は、応募頂いた候補の中から、最終的には常任理事会・理事会での審議を通した許可を経て、正式に認定される運びとなります旨を申し添えます。

皆さま方の積極的なご応募を心よりお待ち申し上げております。

8. 事務局からのお知らせ

（1）会費納入のお願い

日頃より学会活動にご尽力いただきありがとうございます。学会活動は会員の皆様の会費がベースです。皆様には、本年度の学会費納入をお願いいたします。

過年度分の学会費が未納の場合には、今後発刊する学会誌が送付されません。また、会費を3年間滞納した場合には会則第8条第4号に基づいて会員資格が失われます。

以上をご留意の上、早期の会費納入につきましてご協力をお願いいたします。

年会費は正会員8,000円、準会員（学生）5,000円です。指定口座は次のとおりです。

銀行名：ゆうちょ銀行 口座番号:00120-3-585264

口座名義：国際戦略経営研究会

なお、会費納入に当たっては必ずフルネームをご記入下さい。特に校費等で振込を行う場合など、大学から学会宛に直接振り込みが行われる際にはご注意下さい。

（2）住所等変更の際のご連絡のお願い

所属・ご住所・メールアドレス等を変更された方は、速やかに学会事務局までご連絡ください。準会員で入会された方も、学生の身分を離れた場合には正会員になりますので、学会事務局までお申し出下さい。

（3）活気溢れる学会運営のため、お知り合いの方に是非当学会への入会をお勧め下さい。
ご不明の点がありましたら、下記学会事務局までお問い合わせください。

#####

国際戦略経営研究学会(IASM)

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

電話 03-6824-9369・FAX 03-5227-8631

平日 9:00～12:00 13:00～17:00(土日・祝日を除く)

iasm-post(at)bunken.co.jp (at)の場所に@をお入れください

#####

写真：千枚岳から見る富士山と朝日 (www.pakutaso.com)